

令和 7 年度研修

やさしい土質力学の基礎

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

構造物は地盤の上または地中に建造するため、自重や作用する荷重に対して、その地盤がどれだけの力を支えられるか、沈下や掘削あるいは盛土したときの安定性はどうかなどが設計、施工に問われます。

本研修は、さまざまな社会基盤施設を支えたり、防災や地域環境保全・再生のためになくはない土質力学を初めて習得する技術者を対象とした入門編です。

また、構造物の計画・設計に必要な土の基本的な性質、それを求めるための調査・試験方法、地盤内の応力、土の圧密・強さなど土質力学の最低限の基礎を学ぶとともに、土圧理論から杭基礎の工事立会・検査時の留意点など実務に即した基礎技術も修得します。

集合研修では、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。

また、当該研修の講義をライブ研修として、リアルタイムでも配信いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

【受講された方々の声】

- ◇自分が学びたい分野を学ぶことができたので、大変満足のできる研修内容だった。
- ◇土質力学の基礎を学べたと思うのでよかった。今後の業務に役立つと感じたので、同僚にもおすすめ。
- ◇丁寧な解説であったため、よく復習でき実務に役立つ内容が多かったと思う。
- ◇様々な事例動画を用いて、視覚的にもわかりやすかった。

【研修期間】 令和 7 年 6 月 25 日（水）～ 6 月 27 日（金） 3日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL.042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

当センターホームページよりインターネットで研修の申し込みができます。

※受講経費の助成制度がある県（政令市を除いた市町村職員の受講が対象となります）

集合研修は、青森・岩手・栃木・群馬・〔神奈川〕・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・〔岡山〕・山口・徳島・高知・〔大分〕・宮崎の18県。ライブ研修は〔 〕を除く15県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金（人材育成支援コース）について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本集合研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和7年度研修 「やさしい土質力学の基礎」 実施要領

1. 目的 土木施設の計画・設計・施工管理に必要となる土（地盤）の基本的な力学的性質・性状を学び、実務に役立つ基礎知識を修得する。
2. 対象者 土質力学の基礎を理解したい者
3. 募集人数 **【集合研修】** 40名 **【ライブ研修】** 定員はありません
4. 研修期間 令和7年6月25日（水）～ 6月27日（金）3日間

【集合研修に関する注意事項】

※通学制です。

※近隣の提携ホテルに研修生特別料金で宿泊できます。

当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合（配信）日時 6月25日（水）1号館1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認の上、9時までに教室に入室（ライブ受講はログイン）して下さい。

6. 教科目、講師及び研修場所（次頁以降参照）

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人全国建設研修センター研修局 : 研修担当：久保寺・清水

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

TEL:042-324-5315 FAX:042-322-5296

※申込方法 **【集合研修】** インターネット、郵送、FAX

【ライブ研修】 インターネット

8. 研修経費及び納入先

研修会費 77,000円（1人当たり、消費税含）

請求書をお送りしますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

請求書の発送・納入方法につきましては、

当センターホームページ「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」をご確認ください。

9. 申込締切日 令和7年6月11日（水）

【集合研修】

10. 継続教育（CPD）について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム(昨年度単位数 18.5)

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラム(昨年度ユニット数 19)

11. その他

- (1) ご持参いただくもの(筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします。
- (4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お知らせ

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当（税込 5 5 0 円）の販売を行います。
支払いは、直接販売員へお願いします。

【ライブ研修】

10. 継続教育（CPD）について

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム(昨年度単位数 18.5)

※ライブ研修は、全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラムではありません。

11. ライブ研修に関するご案内

(1) 動作環境

- ・インターネットが閲覧できる環境（通信料は、各自負担となります）
- ・推奨 OS : Windows 10 以降、Mac OS X 10.11 以降
- ・推奨ブラウザソフト : Google Chrome、Microsoft Edge（バージョンは、すべて最新版）
- ・上記環境に該当しても、セキュリティ環境によっては閲覧できない場合があります。

※研修センターホームページの申込画面にある確認用動画で閲覧可能か、お申込み前にご確認ください。

(2) 注意事項

- ・お申し込みに当たっては、「WEB 研修規約」の内容を確認し、同意の上お申込みください。
- ・動画を録画・キャプチャーすることや SNS 等へのアップは禁止します。
- ・サービス利用に当たってのサポートは致しかねます。
- ・申込者のみ閲覧可能とし、視聴 ID 等の譲渡を禁止します。
- ・受講される人数分をお申し込みください。

(3) その他

- ・申込締切日以降、受講に必要な「ID／パスワード」を送信します。
また、申込時に登録された住所に「研修テキスト」を送付します。
- ・研修開始の3日前(土日祝日を除く)までに「ID／パスワード」「研修テキスト」が未着の場合は、ご連絡ください。
- ・「ID／パスワード」通知後にキャンセルはできません。

12. 修了証書の発行

ID／パスワード送信時に、「学習報告書」を添付いたします。

「学習報告書」に必要事項を記入の上、返信してください。確認後、修了証書をお送りいたします。

令和7年度研修「やさしい土質力学の基礎」時間割

月日	講義時間	教科目名	細目	概要	講師所属・氏名
6 ／ 25 (水)	9:00～9:30	開講の挨拶・オリエンテーション			
	9:30～11:30 (2.0h)	日本の地盤と力学特性	日本各地の代表的な土の分類とその性質	・日本の地形と土の種類 ・土の分類 ・基本的物理量 ・原位置試験 ◎含水比の違いによる土の分類（砂質土、粘土、腐植土）及び工学的性質の把握	芝浦工業大学 工学部 土木工学科 教授 並河 努
	12:30～14:30 (2.0h)	土の地盤としての評価	締固めの力学特性	・土と地盤 ・締固めとは ・工事設計上の盛土工法 ◎道路、河川堤防、宅地造成の盛土事例から密度、管理基準を修得	新東昇建設株式会社 代表取締役 鎌田 克郎
	14:40～17:10 (2.5h)	土と水（水環境）	土中の水の流れ	・土中の水の状態 ・土中の圧力分布 ・透水係数の測定方法 ・地下水汚染物質の移流・拡散の特徴 ・地下水汚染の代表的対策 ◎水の循環と地下水に関連した地盤の諸問題への対応を修得	愛媛大学 農学部長 大学院農学研究科長 教授 治多 伸介
6 ／ 26 (木)	9:00～11:30 (2.5h)	土圧（土の強さ）	土圧	・クーロン土圧とランキン土圧の考え方と実務上の使い分け例	株式会社竹中土木 東京本店 技術・設計部 技術グループリーダー 岡本 健
			土を支える構造物	・擁壁⇒重力式、L型、逆T型、補強土圧 擁壁設計の基本・留意事項 ・山留め⇒切梁式、自立式 仮設設計計算上のチェックポイント ◎構造物に作用する土圧の基本を修得	
	12:30～14:30 (2.0h)	土圧を受ける構造物	土圧を受ける構造物（L型擁壁の設計例） 設計上のチェックポイント	・多く用いられるL型擁壁の設計事例をもとに、初期条件の確認（地盤、背面荷重の設定、耐震） 設計計算上のチェックポイント、施工管理上のチェックポイント ◎擁壁設計の重点確認ポイントの修得	一般財団法人つくば都市交通センター 事業部長 司 貴文
6 ／ 27 (金)	14:40～17:10 (2.5h)	地盤の支持力	土に力を伝える構造物	・直接基礎と杭基礎に必要な確認事項 ・平板載荷試験 ◎既製杭及び場所打ち杭の工事立会・検査時のチェックポイントを修得	株式会社URリンケージ 都市・居住本部 建築部 担当部長 秋山 裕紀
	9:00～12:00 (3.0h)	地盤の変形・地盤改良	地盤沈下とその予測	・地盤沈下の原因とメカニズム ・地盤内応力 ・地盤沈下の予測方法	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 地盤コンサルティング事業部 事業部長 佐藤 毅
			軟弱地盤対策工法	・対策工法適用の基本的な考え方 ・対策工法の種類と選定 ・対策工法各論と対策事例 ◎軟弱地盤に対する留意事項・対策工法を修得	
	13:00～15:00 (2.0h)	最近の話題	土と災害	・斜面崩壊の種類 ・斜面安定解析の概要 ・斜面災害の対策 ・土砂災害（盛土斜面の崩壊、都市型斜面災害） ・地震災害（地震と液状化） ◎土に係る災害の実態・メカニズムの把握及び災害防止に向けた対策手法を修得	東急建設株式会社 常務執行役員 渡部 英二
	15:00～15:10				

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

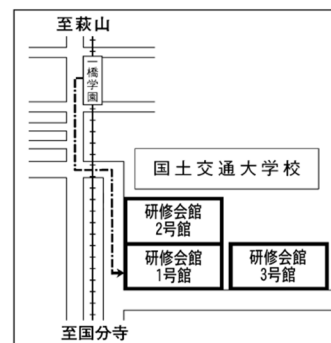
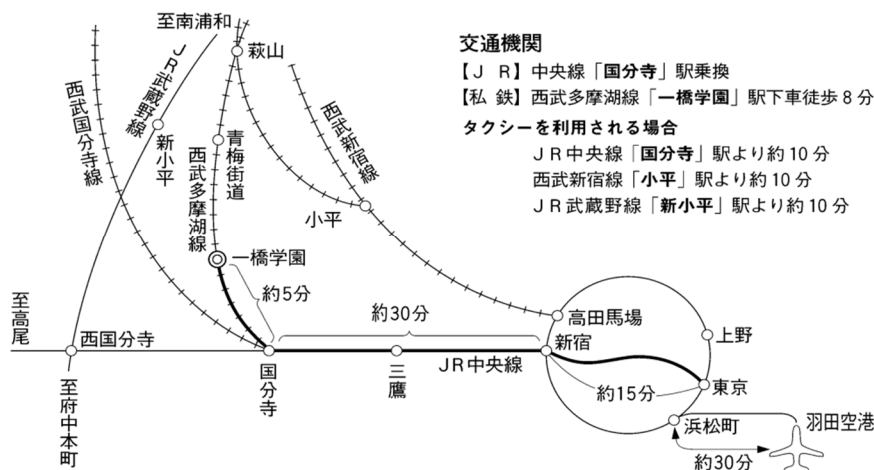
※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



令和7年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。
なお、この場合は全ての研修について配信されます。
ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

